

北信初。須坂市のオリオン機械(株)の提案が採択。

タイにおける搾乳システムおよび生乳冷却機の試験導入。

国際協力機構(JICA)は1月26日、「中小企業海外展開支援事業」においてオリオン機械株式会社(長野県須坂市、代表取締役 太田哲郎)が提案する「自動洗浄機能付搾乳システム及び生乳冷却機による生乳の品質向上に関する普及・実証事業」(対象国:タイ)を採択しました。

タイ政府は国内酪農業の振興を図っていますが、搾乳段階における品質管理水準が低く、また酪農家および酪農協同組合の搾乳知識が不十分であるとされており、そうした状況を改善していくことが急務となっています。

オリオン機械株式会社は、自社のスーパーラインミルクカー(自動洗浄機能付搾乳システム)やバルククーラー(生乳冷却機)を途上国に導入することで、途上国における乳製品の品質と生産性の向上を進めていくことを目的に、普及・実証事業に応募されました。



スーパーラインミルクカー (自動洗浄機能付搾乳システム)



バルククーラー (生乳冷却機)

今回の事業では、タイの複数の地域において搾乳システムや生乳冷却機を試験導入し、タイにおける生乳の品質と搾乳技術の向上、酪農業の効率化、生産性の向上などを農業・協同組合省畜産振興局やオリオン機械が2011年に設立した現地法人 Orion Machinery Asia とともに進めていきます。

本事業は、我が国の中小企業を対象とした「普及・実証事業」として実施されます。本スキームは、開発途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを進め、これらの製品・技術等に関する途上国での現地適合性を高めるための実証活動となります。2016年度第2回は昨年9月に公示を行い、審査を経て23件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次事業を実施していきます。

参考:2016年度第2回中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～で23件の採択を決定

https://www.jica.go.jp/press/2016/20160130_03.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 駒ヶ根 業務課 小嶋 (おじま)

TEL 0265-82-6151 e-mail: jicakjv-pdt@jica.go.jp